

丸沼芸術の森所蔵
ベン・シャーン展 **BEN SHAHN**

わたしは憎むものを描く。

わたしは愛するものを描く。

2020 **6.16 tue** →
7.29 wed

アメリカを代表する画家の一人、ベン・シャーン（1898-1969）。リトアニアのユダヤ人家庭に生まれ、8歳でニューヨークのブルックリンへ移住し、石版画工房で働きながら学校へ通ったシャーンは、社会的事件に目を向け、人々の心に寄り添うようにして制作を続けました。ヒューマンイズムの姿勢に貫かれたシャーンの線描は、まるで怒りに震え優しさで滲むように対象の思いを画面に響き渡らせません。本展では、丸沼芸術の森が所蔵する約300点のドローイングの数々より、初期から晩年にかけての水彩やテンペラ、インクなどによる、選りすぐりの172点を展示します。

開催概要

展覧会名 丸沼芸術の森所蔵 ベン・シャーン展
会場 新潟市美術館 企画展示室
会期 2020年6月16日（火）～7月29日（水）※開場式・内覧会はございません
開館時間 午前9時30分～午後6時（観覧券の販売は閉館30分前まで）
休館日 月曜日
観覧料 一般当日1,000円（800円）、大学生・高校生当日800円（600円）、中学生以下無料
*（ ）内は団体（20名以上）・リピーター割引料金
主催 新潟市美術館
特別協力 丸沼芸術の森
お問合せ先 新潟市美術館（担当：児矢野（こやの）あゆみ、関戸愛莉）
〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9
[TEL:025-223-1622](tel:025-223-1622) FAX:025-228-3051 E-mail:museum@city.niigata.lg.jp

ベン・シャーンとは

1898年、リトアニアのユダヤ人家庭に生まれたシャーンは、社会主義者である父の逃亡により、1906年、8歳で家族とともにアメリカに移住し、10代から石版画工の徒弟として働きました。1932年、34歳で発表した、アメリカを揺るがした冤罪事件**サッコとヴァンゼッティ事件**を取り上げたシリーズで一躍有名となり、1933年、35歳の時に制作した**トム・ムーニー事件**のシリーズなど、社会的事件を描き続けました。

また、1930年代に行われたニューディール政策の一環で、**連邦社会保障ビルの壁画**などを制作し、アメリカ南部の貧困の実情を写真に収める仕事をしました。1942年、44歳の時に戦時情報局に入ってから、選挙促進ポスターをはじめとするグラフィック・デザインにも携わっています。そうした政府からの仕事をすると同時に、シャーンは、常に弱者や一介の個人に対して深い愛情に満ちた眼差しを向けて、制作を続けました。

第二次世界大戦の広島・長崎の原爆投下に心を痛めたシャーンは、1954年にビキニ環礁で行われたアメリカの水爆実験に強い関心を持っていました。1957年、59歳の時に『ハーパーズ・マガジン』誌の依頼で、第五福竜丸事件を取り扱った記事の挿絵**《ラッキードラゴン》シリーズ**を制作。被ばくした船員たちが辿った苦しみの日々を、怒りと哀しみをもって描きました。

晩年は、クリスマスの数え歌**《梨の木にとまるヤマウズラ》**や、リルケの『マルテの手記』から24場面を抜き出し、リトグラフ版画集として出版した**《マルテの手記》**を制作。そして、自身のルーツであるユダヤ教に依拠した書籍のブックデザインにも携わりました。

シャーンと日本、新潟

シャーン作品は、日本のアーティスト、グラフィック・デザイナーたちに大きな影響をあたえています。1960年、62歳のシャーンが一ヶ月近く日本に滞在した際には、彫刻家の佐藤忠良、デザイナーの朝倉摂をはじめ、日本の若きグラフィック・デザイナーであった粟津潔、和田誠など、日本のアーティストらがこぞってシャーンのもとを訪れました。

そのなかでも特筆すべきなのは、『現代アメリカ絵画』（講談社、1955年刊行）において、**シャーン**を日本に初めて紹介した新潟出身の画家・写真家である**阿部展也（のぶや）**との交流です。当館の所蔵作家のなかでも重要な位置を占める阿部展也は、いち早くシャーンを日本に紹介したのみならず、京都滞在の4日間に同行し、密着取材を行っています。

本展では、シャーンから阿部展也に贈られた**《ペンを握る手》**（1960年、墨・紙、当館新収蔵）や、阿部が撮影したシャーンの写真資料を通して、ふたりの交流についてもご紹介します。

会期中のイベント

◆講演会「ベン・シャーン ～一篇の詩の最初の言葉が生まれるまで～」

荒木康子氏（福島県立美術館副館長兼学芸課長）

7月25日（土） 午後2時から（90分程度）

※チラシに誤りがございました。訂正してお詫び申し上げます。

◆美術講座「ベン・シャーンと阿部展也」

講師：松沢寿重（新潟市新津美術館館長）

7月4日（土） 午後2時から（90分程度）

*いずれも、会場：当館2階講堂 *参加無料、先着100名

◆ギャラリートーク（展覧会担当学芸員による解説）

6月28日（日）、7月12日（日）

各日午後2時から（30分程度）

*直接企画展示室にお越しください。

*当日の観覧券が必要となります。

◆広報用作品画像についてのご案内◆

新聞・雑誌・ウェブ媒体へ掲載を希望される際には、チラシ（裏）に掲載された下記の作品、

「ベン・シャーン《槍に取り囲まれるハムレット》1959年、インク・紙」

1点のみをご使用いただけます。

ご掲載を希望する方は、申込書の通信欄にその旨をご明記の上、美術館までご返信ください。

【許諾条件】

- 1) JASPAR 指定のクレジット及び許諾番号を付記すること。
- 2) 作品画像の大きさは50cm²以下とすること。
- 2) 展覧会の広報の記事に限定し、400字以内の展覧会の告知とともに掲載される場合に限定される。

※事前に美術館と、必要に応じては日本美術著作権協会での記事校正（レイアウト確認）が必要となります。時間に余裕をみてお申込みください。

※クレジット及び許諾番号は、広報用画像提供時にお知らせします。

「丸沼芸術の森所蔵 ベン・シャーン展」

取材・チケットプレゼント・記事掲載申込書（FAX 専用）

FAX 送信番号：025-228-3051 新潟市美術館宛

- ◆取材、記事掲載時の作品写真（画像データ）及び読者プレゼント招待券を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。
- ◆記事内容は必ず事前に確認させていただきますよう、お願いいたします。
- ◆チケットプレゼントの提供は1媒体につき10組20名様を上限とし、本展をご紹介いただける場合に限りさせていただきます。
- ◆読者プレゼントの宛先は貴社とし、抽選、当選者への発送は貴社にてご手配ください。当館から当選者への発送はいたしません。

○をおつけください	取材希望 ・ チケットプレゼント希望 ・ 記事掲載希望
貴社名	
ご担当者名	
ご連絡先 0	
ご住所 (チケットプレゼント送付先)	〒
メールアドレス (データ送付先)	
媒体名	
取材予定日	月 日 時頃 ・ 取材予定なし
取材スタッフ	計 名 (内カメラクルー 名)
掲載・放映ご予約日	月 日
チケットプレゼントご希望	組 枚 * 1媒体につき10組20名様まで
通信欄 (画像のご希望等)	

- ◆掲載された媒体は、2部ご恵与ください。

